大根占町報

第53号

発行所
大根占町役場
電話 大根占1番

編集兼発行
遊喜半次

印刷所
鹿児島市易居町2番地
南日本新聞社印刷局
電話2200番

再建へ一歩ふみ出す

両農協の総会終る

長い間、経営不振にあえいでいた大根占、神川両農協は、漸次経営内容も好転、大根占農協は四月十八日、神川農協は二十五日、それぞれ総会をひらき、新年度の事業計画を定め、組合員一致してさらに再建に努力するよう申合せました。

※大根占農協

三十一年度では一六万円の黒字を出し、次期繰越の赤字は一、八八五万円となつた。

三十一年九月には再建整備特別措置法の適用指定を受け、長期資金二、〇九〇万円を借入れ、また国県から利子減免の措置を受けることゝなり、ます〳〵明るい希望をもてることゝなつた。

組合員五七六名で、三十一年中に六六名の増加で、共同計算に努しまし、ます〳〵全利用運動を推進することを申合せた。

※神川農協

総会では九〇%の出席率で発足以来の好成績で、それだけに組合員の再建意欲のたかまりがうかがわれる。

次期繰越の赤字は四一八万円、三十二年度では共同販売、予約共同購入をとくに推進し、宿利原に随時集荷所を置くこととなつた。

大根占農協　大根占農協では、今の役員改選　度の総会で任期満了による役員改選を行つた結果、次の諸氏が当選した。なお、組合長には本釜清氏が再任された。

理事　本釜清、松元清二、落司吉彦　永田清彦　前迫平吉　壱崎実志　牧原清治　戸幸之助　福園源助　坂口不二郎　大

警事　福園源助　坂口不二郎　大

また、県農協中央会からの派遣参事別府熊男氏は中央会へ復帰することゝなり、それにともない次のように人事異動を行つた。

参事　西園正二、管理課長　今村利文、同次長　村岡昭、整理課長（新設）小脇伊助、金融課長　永田政次、経済課長　迫三郎、同販売主任　大西博、島浜支所長福永利秀、販売係へ　福岡義行、購買係へ　坂内もり子、金融課へ　牧田むつ子

新年度の部落長会

三十二年度の部落長会は、四月二十六日午前十時から町議会議事堂で部落長全員が出席して開かれました。

まず、遊喜町長から町政についての説明と、協力方を望む旨の挨拶があり、午前は、町勢調査を行うについての説明と事務打合会が行われた。

午後は各課、各機関の事務についての説明と連絡があり、助役から町村合併問題について説明が行われ、午後四時閉会した。

農農協中央会主事

別府熊男

昭和二十九年夏、本釜組合長の下に就職参事として参りましてから二年八カ月の間、不肖の身ながら、みなさんの御支援のおかげで大過なく過ごしていたゞき、誠に感謝にたえません。

かえりみますと、在任中はどん底から立上るため、他に例のないような無理なことをお願いしたこともありましたが役職員をはじめ、組合員一丸となつて血のにじむような努力を重ねていたゞき、三十年度の黒字三七万円を口火に自主再建の目標が樹立され、さらに特別措置法の適用を受け、組合員団結の成果は今日の実績となつて現れ、将来の希望をみるにいたりましたこと、めなさんと共に喜びにたえません。

大根占農協参事

西園正二

このたび別府参事の後をうけて不肖私が参事の任をけがす事になりましたが其の負託の重大さを痛感するものであります。

果して私如きが其の責に任ずる事が出来るかまことに心もとなく存じますが関係諸団体の方々や先輩諸兄の御援助によりこの任を果したいと存じますのでよろしく御指導下さるようお願い申し上げます。

これは当農協は組合発足後間もなく不慮の災害に遭遇し経営意の如くならず遂に来るべきところ迄来たのでありますが当時の県指導連の協力に依り派遣参事に別府氏をむかへ其の内組合長を中心とする強力なる役員陣とこれに呼応する瑞組合員の結束により極めて急速に経営の好転を見るに至つたのであります。特に特記すべきは昨年整備特別措置法施行せらるるや指定組合として認定せられ前途洋々たるものがあります、顧わくば大根占町農協本来の姿に立ちかえるべく未加入農民の方々もこの際農民結束の意味から加入せられん事を切望してやみません。

一々御挨拶申上べきところで御座いますがとりあえず紙上を以て就任の御挨拶に代えさして戴きます。

御挨拶

下りの坂は易く、苦難の上り坂は容易に非ずと申すものの、ひとたび出来上つたこの体制は、今後においても絶対にくずれることはないと信ずるものでございます。

組合と組合員が信頼によつて結ばれ、おたがいに、という隣人愛をもとにできた共同の体制は益々固まるであろうことを信じて疑いません。

今や経営いくらか順調なりといえど決しておごらずこの三年位はコツ〳〵と更に健斗をおねがいしてやみません。

在任中の御厚情を深く感謝いたしまして御挨拶といたします。

★　★　★

★　★　★

「町民の声」をつのる

町政への批判、意見、希望など、卒直な町民の声をお寄せ下さい。住所氏名を明記し、毎月25日まで「広報係」へ送つて下さい。

今月の納税

税車荷車自轉車

犬　税

藤岡技師着任

蠶業となつていた畜産技術員として、掛宿郡山川町出身の藤岡髮さん（二九才）が着任しました。

今までは郷里で獣医を開業していたもので、家畜を飼つておられる方はよろしく御利用下さるようお願いします。

追加予算など可決

第三回臨時町議会

第三回臨時町議会は五月四日招集され、会期を一日とし、議案二件を審議し同日閉会しました。

議案二三号　三十一年度大根占中学校講堂新築事業継続費の繰越について＝原案可決

工程の不足と起債の関係で三十一年度の支出を三十二年度に繰越そうとするもの。

議案二四号　三十二年度一般会計第一回追加更正予算＝原案可決

おもなものは、サイレンの柱とりかえ（鉄柱）の費用一万九千円、山之口海岸堤の災害復旧工事三一年度事業の三〇%を三二年度に繰越す費用七三〇千円、公民館職員の退職金一六六千円、町勢調査実施費二万四千円、公明選挙常時啓発費八千円で、財源は交付税四一三千円、国庫支出金五三四千円、となつています。これで予算累計は四一六八万九六二円となりました。

この後、四林班九号山の町有材木盗難事件について報告があり、このような事件続発の折、いろ〳〵検討されたが、厳重調査の上当局で適当に措置するよう望み、閉会しました。

議員の研修　町議会では、五月二日県地方課行政係長領家主事を招き、議会運営、最近の自治団体の行財政の動向などについて話しを聞く一日研修会を行つた。

町議会だより

〈公明選挙感想文一等入選作品〉

新有権者としての選挙に対する自覚

川崎征男（京都市左京区）

新しい有権者となつて、うれしいというよりも、背徳政治家を締めだすぞというのが今の気持である。

国民の代弁者である政治家が、汚職、乱闘事件を起したり、政権のたらいまわしやみにくいイス争い、さては日本の国連加盟を口実に政治犯を特免するなど、国民の期待をふみにじるような勝手なふるまいに、私はやりどころのない公憤と割り切れぬ気持を抱きつづけてきた。

彼等を選んだのは一体だれだ。国民自身ではないか。だからその責はどこまでも国民が負わねばならないといわれれば私はかえすことばがない。私は彼等を責めるまえに、しようこりもなく彼等背徳議員を選挙した大人たちに抗議したい。一国の幸、不幸を左右する選挙に、情実にからまれたり、権力にとらわれてどうして正しい政治が望めるだろうか。俺ひとりぐらい、わたしひとりぐらいという無責任な態度が、そくざに政治の上にあらわれるのである。あるいはまた、こんどこそはよい国会があらわれるだろうといつた淡い望みぐらいでは、いつまでたつてもよい政治、国民のための政治が実現しないことは自明である。真に国民が自分たちの幸福を希うならば、その意志を政治ーその唯一の手段として選挙に投票することーに反映しなければならない。この意味で「選権」は与えられた権利の放棄であり民主政治の後退であると思う。

公明選挙を推進しだしてから、不正行為が減るどころか、かえつてそれが目立つてきた。これは何を意味するのか。ある者は、これじゃまつたく逆効果だとなげき又ある者は、今さら公明選挙とはなんだと嘲うだろう。が、国連が大国の暴挙にもめげず、世界の平和と人類の福祉を念願して、もくもくと、地味な、しかし力強い歩みをつづけているように、正しい選挙運動は決して一朝一夕に実現するものではないが、公明選挙運動の主旨に徹して我々は正しい認識の上になつて己に恥じない立派な政治家をえらばねばならない。私は選挙に際して次の点を考慮する。

まず第一に政治にはモラルがなければならない。

厳粛であるべきはずの政治が待合で行われたり、およそ節操を疑うような政治家の離合集散、税金のムダ使い等、これらは民主国家にあるまじき事柄である。

第二に、政党を除いて政治を考えることは出来ない。

ようやく保守、革新の二大政党が結成されたことは、デモクラシーの先進国であるアメリカやイギリスを例にとつてみてもよろこばしいことだと思う。又多数決制の議会においては、個人というものは多くの場合無力に等しい。故に私は無所属候補よりも政党に所属している候補を中心に選ぶ。

さて、選挙となると、どの政党も盛り沢山な公約を国民にする。それらの公約だけを見聞していると、どの政党を選んでも国民は世界一幸福になれるような錯覚すらおこすが、その公約が単なる口約にすぎなかつたことを国民はいやというほど知らされてきた。なんんずく、保守、革新の如何をとわず、窮乏にあえぐ農民や中小企業家のわらをもつかむ心理を巧みに利用、あるいは個人の意向を無視した組織票により多数の議席をしめた政党が、業者（ないしは一部国民）の利益代表のような政治を行つてきたことは許せない。

この意味でも私は国民全体の幸福を考えてくれる党を選ぶ。

第三に個々の候補者については

1、家庭を愛する人をえらぶ。

政治は人を愛することでなければならない。自分の妻子を愛することが出来なくて、どうして国民を愛することができようか。

2、肩書きに注意する。

我々は、いかめしい肩書きをみるとむやみに頭をさげがちである又、大物といわれる政治家はとりもなおさず子分の多い政治ボスに他ならぬ。このことも十分注意する。

3、博学かつ実行力のある人をえらぶ。

刻々とかわる世界情勢、複雑多岐を極める国の政治経済に対処していくためには博学であることは必須であり、なおその上に実行力のある人でなければならない。たゞ単に三バン（カバン、カンバン、ジバン）にものいわせて私欲を満たそうとする無能候補は断固排斥する。

以上、いろいろと感想を記した最後に、私は明日の日本を背負つてたつ若者の一員として、与えられた選挙権が、我々の暮しを良くも悪くもする鍵であるということをよく自覚して、一票を正しく行使する覚悟である。

（これは公明選挙連盟が今年成年に達した成人を対象として募集した感想文の入選です。）

一等は小村政和君

＝赤ちゃんコンクール＝

五月五日「子供の日」に三二年度の赤ちゃんコンクールの授賞式が行われました。

晴れの入選をかちえた赤ちゃんは次のとおりです。

（住所、赤ちゃんの名、お父さんの名の順）

一等
塩屋一区　小村政和　義政

二等
栄町　玉利誠章　孝
神川　吉元裕雅　功

三等
麓　浜園裕子　鉄男
旭町　青木琴子　利邦
毛下　毛下ツツ子　邦夫
准優良児
神之浜一区　石井睦裕　茂
命苦　命苦トシ子　幸夫
木場　栗脇マユミ　一徳
川南　牧原義蔵　新吉
木場　水谷唱典　清武
京町　長浜久光　三三雄
栄町　国分サダ子　健一
塩屋一区　長谷二男　俊夫
旭町　黒瀬純一　君香
安水　安水守　一二

世界を結ぶ白い羽根

五月一日――三十一日　赤十字募金運動

今年もまた新緑の五月をむかえて、赤十字募金運動が行われます。平和な明るい社会建設のために御協力下さるようお願い申し上げます。

赤十字社の事業は、博愛を旗印に、国際的には在外抑留者の引揚促進等、国内的には緊急災害救助、無料巡回診療、その他いろ〳〵社会事業に専念しています。

本町でも今までいろ〳〵の災害の度にその援助を受けています。いろ〳〵な募金、寄附と、納税のほかに出資が重なり、またか、という感の方も強いでありましようが、赤十字の事業を御理解下さつて御寄附下さるようお願い申し上げます。

春季全国交通安全運動

5.15～5.24

事故を防いで たのしい生活

昨年中県下で起つた交通事故は七一七件で、死者七三人、傷者七〇四人、物的損害一億一八〇五万円となつています。

私たちはおたがいに次のことがらを守つて、交通事故を起さないようにしましよう。

しるべ

1、人は右、車は左の対面交通を守ること。

2、道路を横切るときは、右左を確めてから通行すること。

3、道路での子供の遊びはやめること。

4、車の直前、直後を横切らないこと。

5、道路に物件を放置しないこと。

6、自動車や荷車にぶら下り、またすぐ後からついて走らないこと。

7、車と行き合うときは、自分から進んで道ばたによけること。

8、自転車の二人のり、夜間の無灯火はやめること。

9、道路を三人以上横に並んで歩いたり、道路での立証はやめること。

10、自転車に乗つたら、左側一列進行を励行すること。

（大根占警察署）

貴女もエンピツを！

生活記録の運動

私共の生活を最も合理的な、新しいものに改めて行くためにまず着手しなければならないことは、「現実の生活の実態を知る」ことです。

そのためには実態調査をすることも必要です。また色々の悩みや不合理なことを話し合うことも良いことだと思います。特に婦人会や青年団等の場合話し合い（討議）や語る会等を開いて話し合うことは極めて有意義だと思います。

然し其の人の性質によつては人の前で話しの出来ない人もあり、又口で云えなくとも書くことは、容易に出来るものです。

今盛んに取上げられている「生活記録」の運動がそれです。生活を書綴る事によつて生活の課題を発見し、ともすれば学校卒業と同時にエンピツを握ることも稀になりがちな、現在の農村婦人にとつては、大きな教養向上の学習にもなるのであります。

今本町では「生活綴り方」を町内の婦人を対象として、広く呼びかけています。

現実の生活の色々な不合理や合理化の体験、矛盾そして政治への希望等々、貴方の考えをエンピツを握つてまとめて見て下さい。

まとまつたら遠慮なく町公民館えお出し下さい。

現在公民館に次の二、三が寄せられましたので、本町「生活記録」第一号として掲載いたします。これに見習つて続々御投稿があることをお願いして止みません。

◎生活つづり方第一回のしめ切りを五月二十五日まで延期いたします、ふるつて応募して下さい

（公民館　牛飼記）

町婦人会の大会

「話し合いましよう。明るい人間関係を作るために」とは本年度婦人会のスローガンであるが、このスローガンを実践活動にうつすためには、まず婦人の仲間作りからと、町婦人会では、去る四月二十八日恒例の婦人大会を開催、会員約八百名が参加して盛会のうちに大会を終つた。とくに今回の大会は研修とレクリエーションを主体とする大会とし、大根占中学校長加藤利男氏の一時間余にわたる講話をきいた後午後各校区からくり出す余興で賑つた。

町青協のリーダー講習会

町公民館と町青協では、恒例のリーダー研修会を去る四月十九日から二泊三日間、県立南大隅高校で部落青年団役員七十五名が参加して、盛大に行つた。特に今回は仲間意識によつて組織を固め、青年自からを守るものは青年団組織であるとの観点に立ち、社会教育課より新地主事を、系統組織から県青協会長北田隆利氏を招いて二泊三日間行動を共にし、多大の成果を收めた。

『生活つづり方』應募作品

農村の生活改善

宮脇　久保初江

「暑さ寒さも彼岸まで」とか寒い寒い冬は過ぎて暖かい彼岸に入ると農家では祖先崇拝のしるしに彼岸だんごをつくり、御先祖様に供えます。それを過ぎると束の間に四月三日節句が訪れます。たのしいたのしい雛祭りであるべきはずですが、私は或店先に節句のだんごつくりのお砂糖買いに行つておりますと、二三の主婦達も砂糖買いに来て居りましたが「本当に節句や命日が来るとおなごどもは困つたものだ。義理でもだんごつくりをせねばならないがお金がいくらあつても足りた事ちやない」と又一月して五月の節句、やはり同じ文句を聞きます。六月は種再だんご次は八月のお盆のお菓子其の次は九月に入り、方祭の甘酒つくり等私は思いました。私共日本国民皆終戦を境に戦前の配給制度や空襲、戦後の経済統制、等しく受けた苦難は未だ未だ私達の脳裡に残り居る筈だのに「喉元通れば暑さ忘れる」で日を追うて物は出廻るし、各節句のだんごつくりもいよいよはでとなり、其の上、私共農村には、先祖に其のおだんごを持つて行き、又同じ様なおだんごを同じだけお重箱に入れ代えて帰る。それが孝行になつたつもりで義理でもせなくてはならない因習があるので困つた困つたと云いながらそれを毎年、実行せねばならないのです。私は此の数年ずつと家計簿をつけて居りますので其の年のだんご代を計算して見ました。何と驚くではありませんか。四千八百六十円になりました。私の家がこれだけですが未だ他の家は私の家よりよい物をつくられる所がたくさんあります。今は昔に比べて教育費がずつと上つて居ますが国家再建を思う時、子供達には自分の力で出来る限りの教育はさせてやりたいとかねて思わない親は無いでしようから、教育費だけは削る事は出来ないが。おだんご交換の悪習は婦人の協力で打破したらそんなに虚栄や義理のおだんごをつくらず自分の家で食べるだけの物をつくり費用をいくらかでも少くすませる事が出来ると思うのです。

今一つはお弔いの菓子つくりあれも年を追ふてぜいたくに流れ来る様ですが真心こめて弔らへばお餅だけでも結構ではないかと思います。第三は自分の経験はありませんけれ共最近農村の娘さんが結婚される時持ち行かれる品物の中に洋服ダンスに日本ダンス、茶ダンス、下駄箱、ミシン台、布団、たらい物一人がそんな物持つて行くと流行の様に皆そんなにされますが十五万円かゝるとか聞きます。嫁を貰われた方で時々見受けるのですが茶ダンスや、下駄箱が邪魔そうに縁側の片すみにごみだらけで置かれてありますが無駄な金を使つて親達は山を売られたとか田畑を売られたとか後で聞きますが不経済の至りではないでしようか農村の家には茶ダンス代りのぜんだなや下駄箱入らずの戸棚がつくつてあります。いらんおせつかいの様ですが自分一人がそんな事をすると次の人がまねる。又次々と云ふ様な風で此の狭い農村にずつと広がる。もつともつと実用向を考える必要があるのちやないかと常々考える次第であります。

公民館だより

文藝

詩

あわれな青年

外畑照男

青年団の活動や
公民館の図書には目もくれず
祭りには　奔走し
休日は映画館に行き
女の後を追い廻し
享楽的な恋愛を求めて
家にあつては
囚人のように伍き
考えもせず　牛馬の如く
酒を飲んでは満足し
このあわれな　青年に
明日の夢と希望を与えて呉れる人はないだろうか

母が新聞を

高橋孝子

暗い電気の下で
母が新聞をよんでいる
ひたいに幾本かのシワを寄せて
なに　思いついたのだろう
いつも私達が読む度に
「そんないたづらしてねえで
早くしろ」と
口ぐせにいつて居た母が

新生活運動のあり方

塩屋部落公民館主事　脇　秀男

新生活運動は自らの意欲によつて下から盛り上つて行かなければならないのである。地域社会の生活特に農村の家庭生活、社会生活の中で考えられ進められて行かなければならないのでありそして新生活運動の根本は住民自らが問題を発見し其の問題と取組む様に仕向けなければならない。住民の近代的合理的な意識の向上、自主的な生活の態度、民主的な訓練、そう言うものが新生活運動の基本として培われていかなければ、上から下に流し指揮する運動になり、それでは切花を大地にさすだけの新生活運動に終つて仕まうのである。

この度鹿屋市で開かれた県下の公民館長を集めての新生活運動指導者講習会に私も出席し、大根占町からも多数の方々の参加がありそれによりますと農村の人たちの自主性を高める為にはどうしたらよいか？と言う問題に対して、共通の広場を持ち話合う事が必要だとか婦人会、青年会などがバラ〜な地区活動をしているので、それを総合的にする様にしなければならないとか、或いは青年学級、婦人学級に問題を立案させるのも一つの方法であると言つた批判の声があつた。又家族関係の改善についても、家族会議や嫁とシユウトメとの話合をする機会をつくる必要があると言うものもありました而も最も重要な問題として公民館は新生活運動をどのように進めたらよいかとの問題に対し、公民館や各種団体などが上から下に流すだけの新生活運動や、いわゆる指導者が指揮するだけの運動ではすぐに限界につき当り行き詰つて行く事になり、外部から動かして行く運動でなく、住民を自覚させ住民が自分たちの問題を考え、それと取組む様に意欲をたかめなければ新生活運動の根本的な推進は望まれないとか、新生活運動にたづさわる公民館や各種団体の使命もそこにあるのではないかと言う意見も多かつた。新生活運動の指導とは住民の自覚をたかめ、住民自からが自らの問題を生活の中から掘り起し、それと取組む様に仕向けてやる事であり、各種団体が協力して新生活運動を推進して行く事が何より大事であり、途はまわりくどくともやはり新生活運動は住民の意識のたかまり考え方の基本にさかのぼつて総合的に進められて行く事を痛感し申上げた次第で御座います。

5月の農作業

農業改良普及事務所

水稲

今月の中旬から普通水稲の種まきの時期になります。よい種子をまくことが米作りの第一歩です。塩水選は必ず実行しましよう。水一斗に塩二升をとかし、浮いたものは除き、重いものだけを準備します。水浸しは四〜五日位しますが、毎日きれいな水ととりかえ、消毒も必ず励行しましよう。（ウスブルン一〇〇〇倍液）苗代は必ず揚げ苗床にして反当り一三坪以上、坪三合まきの薄まきを実行し、健苗育成に努めましよう。

むぎ

今月は気象台の発表では、月の前半は晴れの日が多いが、後半は天気がぐづつき、下旬には梅雨のようになるといつています。

麦のとりいれには都合の悪い天気ですから、天気をみて少々早くとも刈りとつた方がよいでしようなお、最近は動力で收かくするせいか種子に混り物が多く不揃いですから種子用はなるべく足踏みでとるようにしましよう。

甘藷の植付

中旬から六月中旬までが適期です。この期間に植え終るように育苗管理に気をつけ、他の仕事のためにツルを長くして適期をのがすことのないよう工面が必要です。甘藷は一にも二にも堆肥です。堆肥がなかつたらムギワラでも菜種ガラでもすきこみ、高畝栽培にしましよう。

早期陸稲

種子まき当時、かんばつで困りましたが、昨年より十日位早くすんでいるようです。むぎの收かくがおくれていますから、早く刈とりすぐ中耕除草をして下さい。

せり市場落成

荒廃して再建を要望されていた家畜市場は福永建設の手で工費六六万円でこのほど完工、四月九日その落成式が行われました。

建坪　坪で、規格によつた丈夫な構造で、十日には新しい市場で初のせり市が開かれました。

出場頭数は九三頭、最高三五一〇〇円、最低一二〇〇〇円、平均は牝二三五〇四円、牡一八二一二円、総平均一九二一三円でした。

（写真は新しい市場で初のせり市）

若草を腹いっぱい食わせよう

今月は若草が一せいにのびはじめるよい季節です。家畜の管理はすべて、①若草がどんどんのびてくる②気温が上る。この二つを根本にして行うことになります。

まず、牛馬、羊豚とも三月から四月はお産の多い時期であり産後の回復を早めるために若草のもつビタミンと消化のよい蛋白質を十分に利用してもらいたいと思います。ニワトリの産卵率も、もつとも高くなりますが緑餌を十分に与えないと生みづかれがでて来て産卵率が急に下つてしまいます

× ×

すべての家畜は冬期間、日光運動ともに不足がちのうえに、米ヌカや大麦、貯蔵のイモ類にワラが主なエサなので、ビタミンの不足はひどく、また良質の蛋白質が少いので健康はふだんよりはずつとおとろえているものです。

みために肥つていても、たいていは炭水化物でアブラがのつているだけで筋肉や内臓は弱つているのです。そこで若草を十分に与えるのは単に飼料費を節約するという意味だけでなく健康を回復させる上から重要なのです。ご承知のようにビタミンも、消化のよい蛋白質も若草にことに多く含まれているのです。

× ×

乳牛、役馬役牛、山羊緬羊のような草食獣にはもちろん、はら一ぱいに草を食わせて下さい。豚にはやわらかい草の中でも、できるだけすすき、ちがやのような木本科でなく、おおばこ、たんぽぽ、あざみ、レンゲ、よもぎなどの栄養の多いものをあたえます。

仔豚と中豚は毎日体重の十分の一から二十分の一位も食わせます仔つきの母豚には二十分の一位にします。中豚にレンゲを体重の十分の一（一〇貫の豚ならレンゲを一貫）くわせれば濃厚飼料を平常の半分位にへらしても育ちはけつしておちません。これほど青草の栄養は高いものですから、大いに利用して下さい。

二、三月に生れた仔豚は今月チチバナレすることになり、仔豚を買う人は今が買いいれる時期です いうまでもなく、安物かいの餌うしないにならぬよう少し位金は高くとも育ちのよい胴の太い、もの食いのよい仔をえらんで下さい。

買つてきた当座はエサは、消化のよいものを控え目に与えます。多くの仔豚とともにかたまりをよせ合つて寝ていたのに急に一匹になるので冷えやすく、下痢しがちであるし、新しい環境になれないうちに多くのエサを与えれば、側溝下痢をおこしやすいからです。大体、煮たサツマイモ、ヂヤガイモを主にしこれにフスマ、大豆粕小量をまぜて与えるようにし、次第にエサにならすようにして下さい。

× ×

次に春先には牛のガス（急性鼓脹）が多くなります。それはくいなれぬ若草を急にはらいつぱいくわせられたりするからです。

ことに白のクローバーやレンゲなどを一度に大量に与えるとガスになりやすいものです。でこういう若草はだんだん量をふやしてならすようにして下さい。

ガスのようたいは、まず左腹の腹が大きくふくれ上り、一番あとの肋骨と腰骨の角との間をたゝくと、骨の中にガスがたまつているので、ポンポンとゴムマリでもたたくような音がし、弾力があります。

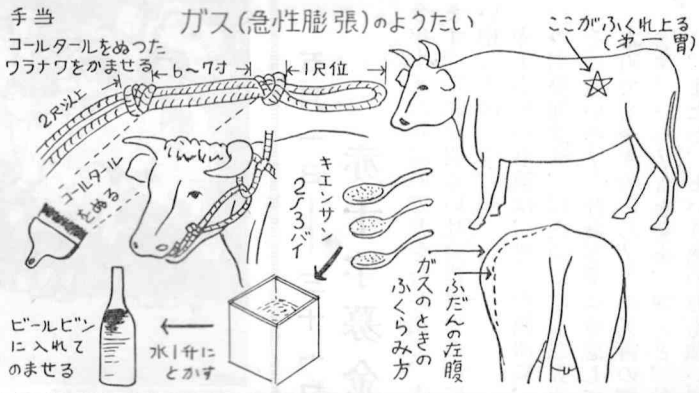
手当のやり方は図のようです。まずワラナワ二本をならべて図のようにしばります。このしぼり目の間にコールタールを塗り牛の口にかませて耳のうしろでしばります。そうすると牛は口を刺戟されるのでさかんによだれを出しながら口をモグモグさせます。このとき左側の腹をもむような気持ちで力を入れてこすると軽いときには口からゲツとくさいいきを出してガスがでて腹がへこんできます。

なお薬品としては、病気のはじまりに、稀塩酸（キエンサン）大サジ二ハイ、あるいはクレオリン大サジ二〜三ハイを一升位の水にとかしてのませます。

この手当をやる一方、いそいで獣医の往診をたのんで下さい。うきにはこの手当てではガスがひかず、胃に穴をあけてガスを抜かねばならぬこともあるからです。

（文責　共済組合　飯隈晃）

手当



町体協の総会

本町体協では、去る四月三十日春季総会を開き会員多数出席して昭和三十二年度行事計画と予算を決定、欠員中の役員を決定して、名実共に新しい出発をすることゝなつた。行事のおもなるものは次のとおりである。

四月　定期総会
六月　学校対抗野球、バレー大会
七月　テニス大会、水泳大会
八月　野球大会
九月　遊戯講習会、バレー、卓球大会
十月　学校運動会参加
十一月　町民運動会
一月　迎春野球大会

好調の早掘馬鈴薯

輸送園芸の花型、早掘馬鈴薯は今年も共販で四月二十八日の初出荷以来数回にわたつて送り出されていますが、現在のところ好評を呼んでいます。五月二日までに三回七八〇箱二七三〇貫を主として北九州方面へ積み出しましたが、一箱三貫五〇〇匁で最上九五〇円、最低五四〇円で、昨年にくらべて非常な高値でした。

註　昨年は一箱三貫で最高六六三円、最低一七〇円で平均三七三円貫当り平均は一二四円となつています。

貫当り一八〇円の高値